

## 第1話 あみこす (2024年8月 平澤典保)

「あみこす」は、ラテン語 (AMICOS) で友達・仲間を意味します。薬学部の1期生の先輩方が、自らの意思で発刊し、以後、薬友会の機関誌として継続されました。現在では、時代の趨勢もあり、発刊されておらず、現在の学生はその存在すらも知らない状況です。

「あみこす」はそれぞれの時代の薬学部が抱える問題、学生・教職員の考え方を知る貴重な史料です。記念すべき第1号の巻頭言には、「我々には自由を束縛する伝統もない。先輩もない。自由ではあるが、実に苦しい立場であり、種々の点で我々は混迷せざるを得なかった」という1期生の思い、そして、「共通な目的をもつものが自己の考え、感想を発表し、相互の理解を深める「場」とも云うべき「あみこす」こそは偽らぬ薬学科の反映であり、今日、我々が自己を反省する良き材料でもありと信じて疑わないのである。」と「あみこす」を発刊し、「あみこす」に託す思いが伝わってきます。

薬学同窓会は、卒業生、在校生、教職員を含めて会員としています。その相互の交流を再び活性化するために、今一度「あみこす」を「あみこすDX」としてHP上で復活させることとしました。

古き良き時代の薬学部の思い出話や、昨今の同窓会でのエピソード等、お寄せいただけますと幸いです。同窓会の交流の活性化の一助になることを祈念しています。